

指導と評価の年間指導計画 論理国語

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
論理国語	3年次	2	精選論理国語 (東京書籍)	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。
主な評価方法	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト

論理国語 「内容のまとまり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 **思**：思考・判断・表現 **主**：主体的に学習に取り組む態度

A 書くこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
芸術論 言語論 科学論 人間論 情報論 社会論 環境論 近代論 記号論 時間論 文化論 身体論 歴史論 哲学論 共同体論 倫理論	知・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 思・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 主言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。	・特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。 ・設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。 ・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。 ・設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。
B 読むこと		
芸術論 言語論 科学論 人間論 情報論 社会論 環境論 近代論 記号論 時間論 文化論 身体論 歴史論 哲学論 共同体論 倫理論	知・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 思・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 主・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。	・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。 ・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。 ・学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。 ・同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。

指導と評価の年間指導計画 文学国語 α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
文学国語 α	3 年次	2	文学国語 (東京書籍)	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	思考・判断・表現 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
主な評価方法	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト

文学国語α 「内容のまとまり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

A 書くこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
随筆 小説 評論 詩歌 戯曲	知・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 思・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 主・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・自由に発想したり評論を参考にしたりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う活動。 ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする活動。 ・古典を題材として小説を書くなど、翻案作品を創作する活動。 ・グループで同じ題材を書き継いで一つの作品をつくるなど、共同で作品制作に取り組む活動。
B 読むこと		
随筆 小説 評論 詩歌 戯曲	知・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 思・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 主・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基に議論したりする活動。 ・作品の内容や形式に対する評価について、評論や解説を参考にしながら、論述したり討論したりする活動。 ・小説を、脚本や絵本などの他の形式の作品に書き換える活動。 ・演劇や映画の作品と基になった作品とを比較して、批評文や紹介文などをまとめる活動。 ・テーマを立てて詩文を集め、アンソロジーを作成して発表し合い、互いに批評する活動。 ・作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり短い論文などにまとめたりする活動。

指導と評価の年間指導計画 古典探究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典探究	3 年次	2	精選 古典探究 (東京書籍)	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。
主な評価方法	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト・定期考査	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート・小テスト

古典探究 「内容のまとまり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 **思**：思考・判断・表現 **主**：主体的に学習に取り組む態度

A 読むこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
古文分野	知 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。	・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりする活動。
説話		・古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、和歌や俳諧、漢詩を創作したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりする活動。
歌物語		・古典の作品について、その内容の解釈を踏まえて朗読する活動。
随筆		・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりする活動。
軍記物語		・古典の言葉や現代の言葉と比較し、その変遷について社会的背景と関連付けながら古典などを読み、分かったことや考えたことを短い論文などにまとめる活動。
日記		・往来物や漢文の名句・名言などを読み、社会生活に役立つ知識の文例を集め、それらの現代における意義や価値などについて随筆などにまとめる活動。
作り物語		
歴史物語		
詩歌		
近世小説		
評論		
俳諧		
上代の文学		
古典の注釈		
漢文分野	思 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 主 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。	
小話		
詩		
史記		
思想		
小説		
文		

指導と評価の年間指導計画 地理探究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
地理探究Ⅱ	3年	3	高等学校 新詳地理探究 (帝国書院)	新詳高等地図(帝国書院) 新編 地理資料 2024(とうほう) データブックオブザワールド 2024(二宮書店)

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
社会的事象の地理的な見方・考え方	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、講義内容を自分なりの解釈を踏まえてノートやプリントに、自分なりに整理し、まとめる。【読解力】・【自律の精神】 2 授業の中で思考・考察が求められた場合には、結論に至る根拠に基づく過程を重視し、答えをすぐに求めない。【批判的・論理的思考力】・【表現力】・【進取の精神】 3 地図への書き込みなどの作業的な取り組みについて、単純作業に陥らないよう、地図・図表などから読み取りを強く意識して取り組む。【批判的・論理的思考力】・【友愛の精神】 4 日頃の生活と授業で得た知識を関連づけ、より実社会を強く感じ、自らの実生活や体験を意識して意欲を高める。【社会で生きる知識・技能】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 地理に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解できている。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解することができている。	思考・判断・表現 地理に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。	主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察や深い理解を通して、意欲的に追究、解決しようとする態度で取り組むことができている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題等への取り組み ・授業への出席率

地理探究Ⅱ 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市	○人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。 ○都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。	・各分野・学習内容において単語や事象といった知識を元にして得た原理原則の考え方をを用いて、グループワークで考える思考する時間を取り入れる。 ・身近な日頃の日常生活に散らばる地理的な知識・事象を各所に取り入れて理解の向上を図る。
2・3	4章 生活文化、民族・宗教 Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の地域区分 3章 現代世界と日本	○民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。 ○国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。 ○各国・地域ごとの自然環境、文化、人口、農業、工業、という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。 ○現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	・世界や日本の民族・文化を構成する言語・宗教という観点を踏まえた学習をする。 ・既習内容を各国・地域の特徴としてまとめていくことが中心となるため、自主的に先行してまとめていくことが可能である。 ・現代の問題点を取り上げる際はグローバル化と諸問題の関係性と未来に向けての視点を重視する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 日本史研究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
日本史研究α	3年	4	詳説 日本史探究 (山川出版社)	自作 授業プリント・演習プリント 改訂版新日本史史料集成(第一学習社) 新詳日本史(浜島書店)

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う		
社会的事象の 歴史的な 見方・考え方	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして考える。		
主な 学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	思考・判断・表現 我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業プリント ・課題への取り組み

日本史研究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I 学期	I 近世の日本と世界 ・近世国家の形成 ・産業社会の発展と幕藩体制の変容 II 近代日本の形成と世界 ・明治維新と立憲体制の成立 ・国際関係の推移と立憲国家の展開 ・近代産業の発展と近代文化	知 幕藩体制下から明治維新以降における歴史的事象を国際的視野も踏まえ理解している。 思 歴史的事象の背景を考え、それを説明することができる。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・開国や明治維新の学習にあたっては、政治経済・歴史総合の資本主義の成立や産業革命、市民革命の学習と関連付ける。 ・明治政府の対外政策や日清・日露戦争の学習にあたっては歴史総合の東アジアの学習と関連付ける。 ・日本史探究を踏まえた上で演習を取り入れて全体像を理解する。
2 学期	III 両世界大戦期の日本と世界 ・政党政治の展開と大衆社会の形成 ・第一次世界大戦と日本の経済・社会 ・第二次世界大戦と日本	知 政治や社会運動の動向、社会の変化について対外政策の推移と関連付けて理解している。 思 日本・諸外国の動向がどのように関連するのかを考え、説明することができる。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・第二次世界大戦の学習にあたっては歴史総合の第二次世界大戦の学習と関連付ける。 ・戦後の学習にあたっては政治経済の国際連合の学習と関連させ、戦後史は歴史総合の内容とも関連付ける。 ・日本史探究で学んだ内容を深めて考察する。
3 学期	IV 現代の日本と世界	知 現代の社会や国民生活の特色について理解している。 思 国際環境と関連付けて考え、世界の中での日本の立場について説明できる。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・現代の問題点を取り上げる際は政治経済の現代の諸問題の学習と関連付ける。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 世界史研究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
世界史研究α	3年	4	詳説 世界史 〈世界史探究〉 (山川出版社)	ニューステージ新詳世界史(浜島書店) 自作 授業プリント

科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	世界の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界の他地域や日本の歴史と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。世界の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史の展開から課題を見だし、日本の歴史と関連づけて多面的多角的に考察し、世界の文化と伝統の特色についての認識を深め、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な評価方法	・授業プリント ・小テスト ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業プリント ・小テスト ・課題への取り組み

世界史研究α 年間指導計画

[知]:知識・技能 [思]:思考・判断・表現 [主]:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	・主権国家体制の形成 ・17～18世紀のヨーロッパ文化 ・産業革命, アメリカの独立, フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制とヨーロッパ再編 ・アメリカ合衆国の発展 ・帝国主義諸国と列強の展開, 世界分割と列強対立 ・アジアの民族運動	・[知]イギリスを中心にアジア進出と産業革命や社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 具体的な歴史事項を学ぶ ・[思]イギリスを中心にアジア進出と産業革命や, 社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 意義について考察する。 ・[思]イギリスを中心にアジア進出と産業革命や, 社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 意義について判断している ・[思]アジアにおける民族運動の発展, 第一次世界大戦の原因について考え, 関連する諸事件の意義について考察する。 ・[主]語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・蘭学の学習にあたっては「世界史探究」のオランダの歴史と関連して学ぶ。 ・開国や明治維新の学習にあたっては、「政治経済」の資本主義の成立や産業革命, 市民革命の学習と関連づけて学習をすすめる。 ・明治政府の対外政策や日清・日露戦争の学習にあたっては「世界史探究」の東アジアの学習と関連させる。
2・3	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦 ・東西対立の始まり, 冷戦構造, 第三世界の自立 ・冷戦の解消と世界の多極化と地域紛争 ・現代文明 (5) 歴史の説明	・[知]第一次世界大戦の特質, 大衆社会の出現, アジアの民族運動の進展と第二次世界大戦の原因について考え, 諸事件について具体的に知る。 ・[思]米ソ冷戦の開始と変遷, アジア・アフリカ諸国の独立, ヨーロッパ統合の歩みについて考え, それらの意義について考察する。 ・[思]自らがこれからの歴史を創っていくことの意味について考え, 現代が直面する課題について考察する。 ・[主]語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。 ・[主]歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気いて, それぞれの根拠や論理を踏まえて, 論理的に整合性のある考えをすすめる。	・社会運動の学習にあたっては, 政治経済の民主主義・人権の学習と関連して学ぶ。 ・第二次世界大戦の学習にあたっては「世界史探究」の第二次世界大戦の学習と関連して学習をすすめる。 ・戦後の学習にあたっては政治経済の国際連合の学習と関連させ, 現在のニュースを取り上げ歴史的な経緯をつかんでいく。 ・現代の問題点を取り上げる際は「政治経済」の現代の諸問題の学習と関連して学習をすすめる。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 政治・経済

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
政治・経済α	3年	2	詳述 政治経済 (実教出版)	最新図説 政治経済(浜島書店) 2025 NEW COM.-PASS 政治・経済

科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代社会における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、 創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	思考・判断・表現 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの意味や効果、現実可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を身に付けている。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題等への取り組み ・出席率

政治・経済 α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	わが国の政治体制 経済活動と経済 社会の発達, 資本主義経済 の一般的特徴, 企業と市場 機構, 国民所得と経済成長, 金融のしくみ, 財政のしくみ 日本経済の発達と産業構造 の変化, 日本の中小企業と 農業, 環境保全と公害の防 止, 労使関係と労働条件の 改善, 社会保障の役割	・政治・経済活動における基本的なしくみ, 政治および経済体制について理解させ, 政治・経済社会の発達を考察させる。現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化, 企業の働き, 市場の寡占化の動きを理解させる。 ・国政・地方行政のしくみや憲法を理解する。 ・戦後の日本経済を振り返るとともに, 現在日本が直面する経済の諸課題を実態に即しながら理解する。	・わが国の政治・経済活動においては「日本史探究」, 国際的な経済活動に対しては「世界史探究」と関連させる。
2・3	商品・資本の流れと国際収 支, 資本主義世界経済の展 開, 発展途上国の経済, 日本 経済の国際化 住民生活と地方自治, 情報 化の進展と市民生活, 大きな 政府と小さな政府, 産業構 造の変化と中小企業, 農業・ 農村と食料・環境問題, 消費 者問題と消費者保護, 公害 と環境政策, 労使関係と労 働市場, 少子高齢社会と社 会保障, 地球環境問題, 人 種・民族問題, 核兵器と軍縮 など 政治経済の説明	・国際政治の動向や国際経済の仕組みを理解し, その中で日本がどのような役割を果たしているか考える。 ・問題の所在をあきらかにし, 政治と経済を関連させながら問題についてどう考え, どう対処していけばよいのか, 追究していくなかで, 公民としての態度と能力を育てる。 ・政治経済の様々な事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気づかせ, それぞれの根拠や論理を踏まえて, 論理的に整合性のある考えをすすめる。	・国際社会の中で日本の経済がどのように他国と関係し, 経済発展に貢献しているか考えさせて理解を深める。 ・現代の問題点を取り上げる際は科目内容に関連する新聞・ニュースを取り上げて人類諸課題を考えさせる。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 数学Ⅲβ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅲβ	3年	1	新編数学Ⅲ (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学Ⅲ+C(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学Ⅲβ 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ 学 期	第4章 微分法の応用	知 接線の方程式や, 増減, 極大・極小, グラフの凹凸, 不定積分や定積分の計算や処理したりする技能を身につけている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
	第5章 積分法とその応用	思 関数の式を多面的にみて, 適切に変形して, 関数の積分を求める方法について考察できる。微分と積分の関係に着目し, 事象を数学的に捉え, 田の事象との関係を考察することができる。 主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 B β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 B β	3年	1	新編数学 B (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 II+B+C(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学 B β 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I 学 期	第2章 統計的な推測	知 標本調査や確率変数, 確率分野についての基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。 思 二項分布や正規分布の性質, 特徴を理解するとともに, 確率変数の平均, 分散, 標準偏差などを用いて考察ができる。また, 標本調査から, 母集団の特徴や傾向を推測し, 標本調査の方法や結果を考察できる。 主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2 学 期			全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
3 学 期			
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 C β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 C β	3年	1	新編数学 C (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学Ⅲ+C(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え, 論理的, 統合的・発展的, 体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では, 学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ, 事象を数理的にとらえることで, 数学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学 C β 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I 学 期	第3章 式と曲線 第4章 複素数平面	知 放物線や楕円, 双曲線の基本的性質, また複素数平面と複素数の極形式, 複素数の演算の図形的な意味を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。 思 放物線, 楕円, 双曲線を相互に関連づけて特徴を考察することができる。また, 複素数平面における図形の移動などに関連づけて, 複素数の演算などの意味を考察できる。 主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2 学 期			全体を通して, それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
3 学 期			
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学研究 α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学研究 α	3年	4		

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学研究Ⅰ 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ ～ Ⅲ 学 期	既習分野の総合 演習	知 既習分野について, 基本的な概念や法則を理解し, 事象を数学的に解釈, 表現, 処理する技能を身につけている。 思 既習分野を活用し, 関連する知識を組み合わせることで問題を多面的, 多角的に捉えることができる。条件を変えたり一般化したりすることで, 問題を論理的, 数学的に考察することができる。 主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(Ⅰ～Ⅳ)を行う。
			全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学研究 β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学研究 β	3年	4		

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学研究β 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ～ 3 学期	既習分野の総合演習	知 既習分野について、基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈、表現、処理する技能を身につけている。 思 既習分野を活用し、関連する知識を組み合わせ、問題を多面的、多角的に捉えることができる。条件を変えたり一般化したりすることで、問題を論理的、数学的に考察することができる。 主 数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1～4)を行う。
			全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学探究 α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学探究 α	3年	2		

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学探究Ⅰ 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ ～ Ⅲ 学 期	既習分野の総合 演習	知 既習分野について, 基本的な概念や法則を理解し, 事象を数学的に解釈, 表現, 処理する技能を身につけている。 思 既習分野を活用し, 関連する知識を組み合わせることで問題を多面的, 多角的に捉えることができる。条件を変えたり一般化したりすることで, 問題を論理的, 数学的に考察することができる。 主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(Ⅰ～Ⅳ)を行う。
			全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 物理β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
物理 (物理β)	3年	5	総合物理 (啓林館)	セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 物理実験書(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物理的な事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組ましましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近なエネルギーなど)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価基準	知識・技能 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	思考・判断・表現 物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問	・観察実験レポート ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み

物理β 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ 学期	(1) 電気と磁気 ア 電界と電位 イ 電流 ウ 電流と磁界 エ 電磁誘導と電磁波	知 電気や磁気による種々の現象について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 思 電気や磁気による種々の現象について、物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験 11 静電誘導 実験 12 電位と電場 実験 13 コンデンサーの基本的性質 実験 14 直流回路 実験 15 電流のつくる磁場
2・3 学期		主 電気や磁気による種々の現象についての理解を目標に物理学に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	(2) 原子 ア 電子と光 イ 原子・原子核・素粒子	知 原子及び原子核に関する現象について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 思 原子及び原子核に関する現象について、物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 主 原子及び原子核に関する現象の理解を目標に物理学に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験 18 電気素量の発見 実験 19 原子のスペクトル 実験 20 半減期
備考	状況によって計画を変更する場合があります。5 単位のうち 1 単位分を 2 つの習熟度別講座(発展的な問題演習に取り組む生徒、標準的な問題の復習に取り組む生徒)に分けて学習を深めます。		

指導と評価の年間指導計画 化学β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学 (化学β)	3年	5	化学 (数研出版)	セミナー 化学基礎+化学(第一学習社) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	化学的な事物・現象に関わり,理科の見方・考え方を働かせ,見通しをもって観察,実験を行うことなどを通して,化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり,科学的に探究しようとする態度を養う。		
主な学習活動	1 講義型の授業では,主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し,まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では,思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験型の授業では,課題意識を強く持ち,グループ内で協力して,観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り,問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ,科学を身近に感じ,自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【グローバルな視点】【キャリア設計力】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能,読解力	探究する力 批判的・論理的思考力,創造力,表現力	未来へ向かう力 自律の精神,友愛の精神,進取の精神,グローバルな視点,キャリア設計力
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	化学的な事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見いだし,見通しをもって観察,実験などを行い,得られた結果を分析して解釈し,表現するなど,科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり,見通しをもったり振り返ったりするなど,科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など,授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

化学Ⅱ 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I	(3) 無機物質の性質 (ア) 無機物質 ⑦ 典型元素 ⑧ 遷移元素	知 無機物質について、典型元素と遷移元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型元素、遷移元素の性質における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験14 ハロゲン 実験18 窒素酸化物と硝酸 実験19 アルカリ金属 実験20 アルカリ土類金属 実験21 アルミニウム・亜鉛 実験22 鉄 実験23 銅・銀 実験24 金属イオンの反応と分離
2・3	(4) 有機化合物の性質 (ア) 有機化合物 ⑦ 炭化水素 ⑧ 官能基をもつ化合物 ⑨ 芳香族化合物 (イ) 高分子化合物 ⑦ 合成高分子化合物 ⑧ 天然高分子化合物	知 有機化合物、高分子化合物について、炭化水素、官能基をもつ化合物、芳香族化合物、合成高分子化合物、天然高分子化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 有機化合物、高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験26 炭化水素 実験27 アルデヒド 実験28 カルボン酸・エステル 実験29 セッケン 実験30 フェノール類 実験31 ニトロベンゼン・アニリン 実験33 アゾ染料 実験34 グルコース・デンプン 実験35 タンパク質・アミノ酸 実験37 高分子化合物の合成 実験40 医薬品の合成
	(5) 化学が果たす役割 (ア) 人間生活の中の化学 ⑦ 様々な物質と人間生活 ⑧ 化学が築く未来	知 化学が果たす役割を日常生活や社会と関連付けながら、様々な物質と人間生活、化学が築く未来のことを理解すること。 思 人間生活の中の化学について、これからの社会における化学が果たす役割を科学的に考察し、表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。5 単位のうち 1 単位分を 2 つの習熟度別講座(発展的な問題演習に取り組む講座、標準的な問題の復習に取り組む講座)に分けて学習を深めます。		

指導と評価の年間指導計画 化学研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学研究 (化学研究α)	3年	2	化学基礎 (数研出版)	標準セミナー 化学基礎(第一学習社) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。		
主な学習活動	1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験型の授業では, 課題意識を強く持ち, グループ内で協力して, 観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ, 科学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神, グローカルな視点, キャリア設計力
評価の観点及び評価基準	知識・技能 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	思考・判断・表現 自然の事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

化学研究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	(1) 化学と人間生活 ア 化学と人間生活のかかわり イ 物質の探究 ウ 化学と人間生活に関する探究活動	知 化学と人間生活について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 主 化学と物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験5 成分元素の確認
2・3	(2) 物質の構成 ア 物質の構成粒子 イ 物質と化学結合 ウ 物質の構成に関する探究活動	知 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解している。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 物質の構成に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験6 アルカリ金属の性質
	(3) 物質の変化 ア 物質と化学反応式 イ 化学反応 ウ 物質の変化に関する探究活動	知 物質と化学反応式、化学反応、化学が拓ひらく世界について、物質、化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 物質の変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験7 気体1 molの占める体積 実験11 中和滴定曲線 実験14 酸化還元滴定 実験16 電池
	(4) 無機物質の性質と利用 ア 無機物質 イ 無機物質と人間生活	知 無機物質について、化学基礎と化学の範囲を融合させて、元素群ごとに性質やその反応について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、元素群ごとに性質やその反応について規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験 ハロゲン 実験 硫酸 実験 窒素酸化物と硝酸
	(5) 有機化合物の性質と利用 ア 有機化合物 イ 有機化合物と人間生活	知 有機化合物について、化学基礎と化学の範囲を融合させて、化合物群ごとの性質やその反応について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 思 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、化合物群ごとの性質やその反応における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 実験 炭化水素 実験 アルデヒド 実験 カルボン酸・エステル 実験 セッケン 実験 アゾ染料
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 生物β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物β	3年	5	改訂 高等学校 生物 (第一学習社)	生物エブリノート(実教出版) ニューアチーブ生物(東京書籍) セミナー生物基礎・生物(第一学習社) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 生物や生物現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・授業ノート	・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

生物Ⅱ 年間指導計画

[知]: 知識・技能 [思]: 思考・判断・表現 [主]: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ 学 期	(1) 遺伝情報とその発現 ア. DNA の複製 Ⅰ. 遺伝子の発現 (2) 遺伝子の発現調節と発生 ア. 遺伝子の発現調節 Ⅰ. 発生と遺伝子の発現 (3) 遺伝子を扱う技術とその応用 ア. 遺伝子を扱う技術 Ⅰ. 遺伝子を扱う技術の応用	[知] 遺伝子の発現調節や発生, 遺伝子技術について理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 [思] 遺伝子発現調節, 発生の過程や誘導のしくみについて資料に基づいて説明でき, 観察, 実験などを通して探究し, 特徴を見いだして表現している。 [主] ショウジョウバエの発生における遺伝子の発現調節やウニ・カエルの発生における遺伝子の発現調節, 遺伝子を扱う技術の人間生活への応用やその課題の学習において主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 実習29 ウニの受精と発生 実習30 カエルの発生
2・3 学 期	(4) 動物の反応と行動 ア. 刺激の受容と反応 Ⅰ. 動物の行動 (5) 植物の成長と環境応答 ア. 植物と環境 Ⅰ. 植物の一生と植物ホルモン (6) 生態系のしくみと人間の関わり ア. 個体群と生物群集 Ⅰ. 生態系の物質生産と消費 ウ. 生態系と人間生活	[知] 動物の受容器や効果器, 神経系のしくみ, 植物ホルモンの特徴, 生態系のしくみについて理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 [思] 静止電位や活動電位が生じるしくみや植物の配偶子形成や植物の成長とホルモンの関係, 個体群の生存曲線や成長曲線, 生態系の物質収支について, 観察, 実験などを通して探究し, 特徴を見いだして表現している。 [主] ニューロンによる電気的な信号の生成や植物の受精や胚発生, 個体群内の相互作用や生態系内の物質循環, 生物多様性の保全と意義の学習に関する探究活動を行い, 学習内容の理解を深めるとともに, 生物学的に探究する能力を高める。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 実習 31 ヒトの視覚 実習 32 ニワトリの眼の構造 実習 36 オーキシンのはたらき 実習 37 生存曲線 実習 38 成長曲線 全体を通して, それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 生物研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物研究 α	3年	1	高等学校 生物基礎 (第一学習社)	学校自作授業ノート セミナー生物基礎(第一学習社) リードLightノート生物基礎(数研出版) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 生物や生物現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・実習書	・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

生物研究α 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I 学 期	(1) 生物の特徴 (ア) 生物の特徴 (イ) 遺伝子とその働き	知 生物の特徴について, その特徴, 遺伝子とその働きを理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 思 生物の特徴について, 観察, 実験などを通して探究し, 多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 主 生物の特徴に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2・3 学 期	(2) ヒトの体の調節 (ア) 神経系と内分泌による調節 (イ) 免疫	知 ヒトの体の調節について, 神経系と内分泌系による調節, 免疫を理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 思 ヒトの体の調節について, 観察, 実験などを通して探究し, 神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。 主 ヒトの体の調節に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
	(3) 生物の多様性と生態系 (ア) 植生と遷移 (イ) 生態系とその保全	知 生物の多様性と生態系について, 植生と遷移を理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 思 生物の多様性と生態系について, 観察, 実験などを通して探究し, 生態系における, 生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 主 生物の多様性と生態系に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 体育

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
体育	3年	3	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)	ステップアップ高校スポーツ2023 (大修館書店)

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
見方・考え方	スポーツをその価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉える。また、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けて考える。		
主な学習活動	1 運動の合理的、計画的な実践や体育理論の学習を通して、知識や技能を高め、課題の解決に向けて取り組むことにより、運動のもつ特性や魅力に触れ、運動のもつ楽しさや喜びを深く味わいます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【創造力】 2 各種の運動を合理的に行なうことにより、体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力、生活に応じた運動の計画を立て、主体的に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】【進取の精神】 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守りお互いに協力して責任を果たし、チームやグループの意志決定に参画するなどの態度を身につけます。また、健康安全を確保して運動することができる能力や態度を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】		
未来創造力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力
評価の観点及び評価規準	知識・技能 ・運動の特性に応じた行い方や運動の一般原則などの知識 ・競技会、発表会の仕方や審判の方法などの知識	思考力・判断力・表現力 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる思考力・判断力・表現力 ・思考・判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりして、相手に伝えたり表現したりする力	学びに向かう力・人間性 ・運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組む態度 ・運動の合理的、計画的な実践を通じて、多様性を尊重し、公正に取り組む、仲間と関わり協力する ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にする
主な評価方法	・知識理解度テスト ・授業状況の観察	・授業状況の観察 ・レポート	・授業状況の観察 ・レポート ・課題への取り組み

体育 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	オリエンテーション 体ほぐし運動 スポーツ大会種目 体育理論 豊かなスポーツライフ の設計の仕方 I 期選択制授業 バレーボール バスケットボール ソフトボール 卓球 II 期選択制授業 卓球 バドミントン ゴルフ	思活動目標・規律などについて理解することができる。 主整列・挨拶ができる。 主体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 思それぞれの種目の特性を理解し,自己の関心・意欲・能力・適性等に応じて種目を選択し自己に適した目標や課題を持ち,お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 主健康面や安全面に配慮して,取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い3つの観点について評価を行う。
2 3	体づくり運動 体育理論 豊かなスポーツライフ の設計の仕方 陸上競技 III 期選択制授業 サッカー T ボール バスケットボール テニス IV 期選択 ハンドボール サッカー バドミントン テニス	主体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 思それぞれの種目の特性を理解し,自己に適した目標や課題を持ち,お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 知各種目の特性に応じて安定したボール・用具操作によって攻防することができる。 主健康面や安全面に配慮して,取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い3つの観点について評価を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 音楽研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
音楽研究α	3年	2	高校生の音楽Ⅱ (教育芸術社)	「楽典 音楽家を志す人のための」,「全訳コールユ ーブンゲン」,「楽典練習Ⅱ5」

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
主な学習活動	1 音楽を構成する基本的な音楽理論の知識を幅広く学習し、表現や鑑賞に生かしましょう。【社会で生きる知識・技能】【探求する力】 2 表現の活動では、楽曲に対する理解を深め、演奏技能を向上させ、より良い演奏表現を探究しましょう。【表現力】【探求する力】 3 鑑賞の活動では、様々な表現形態の著名な音楽について理解を深め、音楽理論の知識を生かしたり、想像力を生かしたりして、楽曲を批評しましょう。【読解力】【批判的・論理的思考力】 4 授業で学習した内容を日常生活と関連づけて、音楽文化に親しみ、さらに感性を高めていきましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力 創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、 進取の精神
評価の観点 及び 評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・様々な表現形態の楽曲に関する表現の工夫やそれに関わる音楽文化を理解し、その美しさを味わっている。 ・創造的な音楽の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、音楽の演奏や言葉による批評で表している。	・音楽の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・音楽理論の知識理解 ・作品鑑賞の理解 ・楽曲形式への理解	・練習への取り組み ・実技の発表	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・進捗状況の観察

音楽研究 α 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1 2 3	オリエンテーション (1) 音楽理論 〈創作〉 (2) 演奏・ソルフェージュ 〈実技〉 (3) 音楽鑑賞 〈鑑賞〉	主 音楽Ⅱの学習の概要を知る。 知 音名、音程、音階について理解する。 思 作品に対する理解を深め、演奏実技を向上させ、より良い音楽表現を探究する。 知 音程やリズムを正しく読譜し歌唱したり、聴き取った音を正確に記譜したりすることができる。 思 様々な演奏形態の作品や西洋音楽を含む諸外国の音楽ならびに我が国の伝統音楽に触れ、楽曲の形式、作曲背景、作品の特徴について理解を深め、自分の言葉で批評することができる。	【創作】 音名、音程、音階、調性、和声、音楽用語について基礎的な知識を学び、問題演習を行う。 【思考・判断】 作品に対する理解を深め、演奏実技を向上させ、より良い音楽表現を探究する。 【知識・技能】 音程やリズムを正しく読譜し歌唱したり、聴き取った音を正確に記譜したりすることができる。 【思考・判断】 様々な演奏形態の作品や西洋音楽を含む諸外国の音楽ならびに我が国の伝統音楽に触れ、楽曲の形式、作曲背景、作品の特徴について学び、自分の言葉で批評する。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 美術研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
美術研究 α	3年	2		学校作成プリント

科目の目標	美術の創造的な活動を通して、造形的なものの見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。			
主な学習活動	1 造形的なよさ、表現の意図と工夫、美術の働きについて考え、主題をつくったり、個性豊かに構想を練ったりしよう。【創造力】【探求する力】 2 表現の活動では、造形的な視点について理解を深めながら、意図に応じて表現方法を工夫しよう。【創造力】【探求する力】 3 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で書いて発表し、自分とは異なる友人のものの見方や考え方に触れよう。【読解力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容を日常の生活と関連づけて、美術文化に親しみ、さらに感性を高めていこう。【進取の精神】			
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力		探究する力 批判的・論理的思考力や創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	鑑賞の能力	創造的な表現の技能	発想や構想の能力	関心・意欲・態度
	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その美しさを創造的に味わっている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・鑑賞カードの記入の状況 ・発表の様子	・制作の様子の観察 ・作品	・スケッチやメモ ・発想・構想プリント	・発表やグループワーク ・振り返りプリント

美術研究α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 絵画の役割と写真 発明 〈鑑賞〉	○絵画の役割の変化と、表現としての意義を 写真との関連から考える。	【鑑賞】18世紀までの絵画の役割 をそれ以降の絵画と比較して違い を考える。 写真の発明以降、主体性を重視し た表現という視点で絵画表現の歩 みを考える。
	(2) 構想を練って描く 油彩表現 〈鑑賞〉 〈絵画・彫刻〉	○造形的な美しさを感じ取り、構想の独自性 と表現の工夫について、スケッチや習作と 比較しながら考え、表現が試行錯誤の結 果生み出されていくことを知る。 ○モチーフの大きさや形、構図や配色などを 試行錯誤して構想を練り、描きたいテーマ を創造的に表す。	【鑑賞】教科書の作品について鑑 賞し、作品とスケッチや習作から作 品に至る変化の様子を構図、表現方 法の視点から探る。 【表現】スケッチや習作を重ね、 試行錯誤して構図を組み立て、油 彩で表現する。
2 3	(3) デザインがもたら す統一感 〈鑑賞〉 〈デザイン〉	○組織やイベントでは、建築、内装、グッズな どを共通の配色や図柄を用いてデザインさ れていることに気づき、統一感のある美しさ を感じ取る。 ○イベントのイメージを統一感のあるデザイ ンで表す。	【鑑賞】組織やイベントの建築、内 装、グッズを分析し、効果的に伝える ための工夫を読み解く。 【表現】学校行事の装飾とグッズ をデザインする。 ・図柄と配色デザインについて主 題を決め、構想を練る。 ・空間の装飾とグッズへ展開する 計画を立てる。 ・基本デザインと展開についてレン ダリングする。
	(4) 造形的な特徴を基 に、作風を探る。 〈鑑賞〉	○造形的な特徴から全体のイメージや作風 を捉え、今まで気づかなかった作品のよさ や美しさに気づく。	【鑑賞】作品に意図的に用いてい る造形要素を探り、それらが感情 にもたらす効果を話し合いながら 考える。
	(5) 考えたことを基に した表現 〈デザイン/絵画彫刻 いずれか選択〉	○自己や社会について深く見つめ、考えたこ とから主題をつくる。 ○表現形式について考え、個性豊かな表現 の構想を練る。 ○主題にあった表現を創意工夫して表す。	【表現】 ・メモやスケッチを重ねながら造形 的視点で考え、主題を決める。 ・客観的な視点に立って、既存の 価値にとれ割れることなく構想す る。 ・自己の見方や感じ方を生かし、 表現方法を創意工夫する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 素描α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
素描α	3年	3		学校作成プリント

科目の目標	素描の学習を通して、造形的な見方考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質、能力を次の通り育成する。 (1) 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身につける。 (2) 体操のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 造形表現を追及する態度を養う。			
主な学習活動	1 表現の活動では、スケッチやデッサンを通して、空間、形体を把握し、表現を工夫して的確に観察する力と描写力を高めましょう。【創造力】【表現力】【思考力】 2 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で書いて発表し、自分とは異なるものの見方や考え方に触れましょう。【読解力】【思考力】			
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力		探究する力 批判的・論理的思考力や創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	鑑賞の能力	創造的な表現の技能	発想や構想の能力	関心・意欲・態度
	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その美しさを創造的に味わっている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・プリント	・デッサン ・クロッキー	・スケッチやメモ ・教員との対話の内容	・鑑賞カード ・発表の内容

素描α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1 2 3	(1) デッサン・表現材料	○対象を深く観察し, 均衡, 律動, 比例などの美的秩序を確かめる。 ○イメージや形体, 空間を把握する。 ○美しさを発見する。 ○形体や色彩, 材質感の表し方を工夫する。 ○表現材料を意図に沿って工夫して使用する。	【デッサン】 ・モチーフの特徴を捉えて卓上に構成し描写するデッサン ・テーブルに組んであるモチーフのデッサン ・有機物と無機的の組み合わせのデッサン ・異素材同士の組み合わせのデッサン ・様々な形体のデッサン ・構想デッサン ・表現の追求 【表現材料】 ・鉛筆 ・木炭
	(2) スケッチ・表現材料	○対象の形体や空間を端的に把握する。 ○対象のよさや美しさを端的に把握する。 ○対象の特徴を端的に工夫して表す。 ○対象の特徴を大まかに把握する。 ○細部を丁寧に見つめて表す。 ○全体と部分の関係を考えて表す。 ○表現材料や用具の特性を理解する。	【スケッチ】 ・デッサンの前の対象の大きさかみに把握するために行うスケッチ ・デッサンの合間に短時間で捉える学習として行うスケッチ ・細部の観察と描写の練習として行うスケッチ 【表現材料】 ・鉛筆 ・木炭 ・墨
	(3) 鑑賞	○生徒や作家の作品について, 表現の意, 形体や色彩, 材質感の描き方の工夫について考察する。 ○生徒や作家の作品について, 表現材料の活用と効果について考察する。	【鑑賞】 ・デッサンの前段階に見方や表し方の理解を深めるために行う鑑賞 ・模写を通して考察する鑑賞
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 英語コミュニケーションⅢ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
英語コミュニケーションⅢ	3年	4	CROWN English CommunicationⅢ (三省堂)	CROWN English CommunicationⅢ ワークブック(三省堂)

科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指す。 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3) 話すこと[やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。 (4) 話すこと[発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。
-------	--

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。			
主な学習活動	1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、スピーチやディベートなどでは他の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、読解問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活（身近な社会問題など）を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高めましょう。【創造力】【進取の精神】			
未来創造力		知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	聞くこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聴いて、その内容をとらえる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。
	読むこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。
	話すこと やり取り	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
	話すこと 発表	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。
	書くこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを書こうとしている。
主な評価方法		・定期考査 ・授業中の発問	・発表やペアワーク活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート、課題、小テストへの取り組み ・課題考査

英語コミュニケーションⅢ 年間指導計画

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	・1課 言語・思考 (講演): 言語がいかに我々の思考に影響しているか ・2課 科学技術・社会 (雑誌記事) ・3課 情報・社会 (論説文): フェイクニュースについて ・4課 科学技術・生き方 (雑誌記事):	知 言語と私達の思考の関係性、ロボットと人間の関係性、フェイクニュース、ブレイクスルーについての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 言語と私達の思考の関係性について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	・单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・各課で以下の事柄について考え、意見を述べる。 1課 言語による人々の思考の違いについて 2課 ロボットと人間の関係性について 3課 フェイクニュースについて 4課 ブレイクスルーについて
2 3	・5課 心理・行動 (ブログ記事): 先送りをしないコツ ・6課 環境・消費社会 (論説文): ・7課 平和・国際貢献 (雑誌記事): ・8課 芸術・文化遺産 (インタビュー):	知 人間の行動心理、消費社会、国際貢献、文化遺産についての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 人間の行動心理、消費社会、国際貢献、文化遺産について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	・单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・各課で以下の事柄について考え、意見を述べる。 5課 先送りしてしまう癖をどうやって克服するか 6課 現代の大量消費社会について 7課 報道と国際貢献について 8課 貴重な文化財の保護や複製について
	・9課 動物・文化 (論説文): ・10課 経済・社会心理 (雑誌記事)	知 動物の行動と知性、富の再配分についての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 動物の行動と知性、富の再配分について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	・单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・各課で以下の事柄について考え、意見を述べる。 9課 動物の行動に見られる知恵について 10課 いかに富を社会に再配分するかについて ・全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 論理・表現Ⅲ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
論理・表現Ⅲ	3年	2	FACTBOOK Logic and Expression Ⅲ (桐原書店)	FACTBOOK Logic and Expression Ⅲ Workbook (桐原書店)
科目の目 標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指す。 (1)話すこと[やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 (2)話すこと[発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3)書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。			
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。			
主な学習活動	Ⅰ「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」活動の基礎となる文法事項や語彙、表現を学習するとともに、それらを目的や場面、状況等に応じて活用できるようにしよう。【社会で生きる知識・技能】【表現力】【自律の精神】			

		2 設定されたテーマ・課題に対して、ペアワーク・グループワークを通して、互いに質問や意見交換を行うことで内容の理解を深化させるとともに、聞き手や目的を意識して簡潔に話したり、書いたりする活動に積極的に取り組もう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを時系列や重要度の高い順に整理したり、比較を用いたり、具体例や統計資料を用いたりして発表しよう。【読解力】【批判的・論理的思考力】 4 授業で学習した内容と日常生活・社会問題などを関連づけ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。学習したことを振り返り、ワークブック・参考書などの演習問題にも自主的に取り組もう。【創造力】【進取の精神】		
未来創造力		知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	話すこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
	発表	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。
	書くこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを書こうとしている。
主な評価方法		・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート・課題等への取り組み ・課題考査

論理・表現Ⅲ 年間指導計画

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ	L.1 AI と将来の職業 L.2 高校生活での成長 L.3 ニュースサービスの利用 L.4 3R と環境保護	知 日常生活の身近な話題など、比較的平易な内容の Listening や Reading を通じてターゲットとなる表現を把握するとともに、概要を把握できる。 思 話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。 主 各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 ○基本表現を理解し活用する。 ○参考書を活用して文法及び表現への理解を深める。
2 3	L.5 キャッシュレス決済 L.6 食品添加物 L.7 日本文化 L.8 脱炭素社会 L.9 電子教科書と紙の教科書 L.10 社会的な差別の問題	知 社会性のある話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、概要を把握できる。 思 話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。 主 各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 ○基本表現を理解し活用する。 ○参考書を活用して文法及び表現への理解を深める。

	speech presentation discussion debate Writing	知 環境問題・教育の話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、概要を把握できる。 思 話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、上記の活動に加えてスピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど多様な活動を通じて、自らの考えを表現し、他の考えを受容することができる。 主 各レッスンの内容や提示されたテーマについて主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連や今後の行動について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 ○基本表現を理解し活用する。 ○参考書を活用して文法及び表現への理解を深める。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 英語探究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
英語探究α	3年	文系Ⅰ (前期)		大学入試共通テストリスニング分野別 10min(エミル出版) 共通テスト英語模擬演習 40min(エミル出版) システム英単語(駿台出版) スクランブル英文法・語法(旺文社)

科目の目標	新聞、テレビ、情報通信ネットワークなどにおいて実践的に用いられる英語を理解するとともに、その内容を探究する。また、必要な情報を選び、活用する基礎的な能力を養う。		
主な学習活動	1 問題集に沿って学習し、情報や考えを的確に理解する能力を伸ばします。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 2年次までの英語コミュニケーションⅡ, 論理・表現Ⅱの内容を復習しながらより高度な内容を学習します。 ①基本的な単語、熟語、英文をインプットし、音読、暗唱する。 ②英語で表現された意見や人の考えを読み取り、聞き取る活動。 ③読み取った内容をメモを取り、理解をより深める活動。 ④読んだり聞いたりして得た情報や与えられた主題について自分の考えを表現する。 【社会で生きる知識・技能】【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、他の人の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現する。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にし、学習したことを振り返り、基本事項の確認、応用問題などに自主的に取り組む。【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高める。【創造力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 英語の仕組み、使われていることばの意味や働きを理解するとともに、言語の背景にある文化を理解しようとしている。	思考・判断・表現 情報や考えなどについて、英語での話し合いや意見の交換を行うとともに、簡潔に書くことを通して、適切に表現し、伝えようとしている。	主体的に取り組む態度 コミュニケーションに関心を持ち、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしている。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業・予習ノート ・提出物への取り組み

英語探究α 年間指導計画英語

学 期	考 査	学習内容	学習のねらい	学習活動・ 特徴的な活動
前 期	第 1 回	長文読解演習とアウトプット活動 図や表などを含んだ200語～1200語程度の案内文やウェブサイトやレポートや記事などの英文を読み取り, それに対する自分の考えを表現する。 (英文の話題は社会問題・環境問題を中心に読み取る)	☐ 文と文のつながりを理解する。 ☐ パラグラフの構成分析できる。 ☐ 要約を要旨や要点を把握しながら書くことができる。 ☐ 資料を読み, 他者に説明できる。 ☐ プレゼンテーションの読み取ることができる。 ☐ 手紙の読み取り, 他者の心情に寄り添うことができる。 ☐ 意見交換	単元ごとに「主な学習活動」の2①②③④を行い, 単元を通じて3つの観点について評価を行う。
前 期	第 2 回	長文読解演習とアウトプット活動 図や表などを含んだ200語～1200語程度の案内文やウェブサイトやレポートや記事などの英文を読み取り, それに対する自分の考えを表現する。 (英文の話題は国際問題・医療・福祉問題を中心に読み取る)	☐ 文と文のつながりを理解する。 ☐ パラグラフの構成分析できる。 ☐ 要約を要旨や要点を把握しながら書くことができる。 ☐ 資料を読み, 他者に説明できる。 ☐ プレゼンテーションの読み取ることができる。 ☐ 手紙の読み取り, 他者の心情に寄り添うことができる。 ☐ 意見交換	

状況によって計画を変更することがあります。

指導と評価の年間指導計画 英語総合研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
英語総合研究 α	3年	文系Ⅰ (後期)		大学入試共通テストリスニング分野別 10min (エミル出版) 共通テスト英語模擬演習 40min (エミル出版) システム英単語 (駿台出版) スクランブル英文法・語法 (旺文社)

科目の目標	英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を更に伸ばすことができる。また、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を更に伸ばすことができる。結果として、そうした能力を社会生活において活用できるようになる。		
主な学習活動	1 問題集に沿って学習し、情報や考えを的確に理解する能力を伸ばします。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 2年次までの英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱの内容を復習しながらより高度な内容を学習します。 ①基本的な、単語、熟語、英文をインプットし、音読、暗唱する。 ②英語で表現された意見や人の考えを読み取り、聞き取る活動。 ③聞き取った内容のメモを取り、ディクテーションにより理解を深める活動。 ④読んだり聞いたりして得た情報や与えられた主題について自分の考えを表現する。 【社会で生きる知識・技能】【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、他の人の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現する。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にし、学習したことを振り返り、基本事項の確認、応用問題などに自主的に取り組む。【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高める。【創造力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 英語の仕組み、使われていることばの意味や働きを理解するとともに、言語の背景にある文化を理解しようとしている。	思考・判断・表現 情報や考えなどについて、英語での話し合いや意見の交換を行うとともに、簡潔に書くことを通して、適切に表現し、伝えようとしている。	主体的に取り組む態度 コミュニケーションに関心を持ち、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしている。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業・予習ノート ・提出物への取り組み

英語総合研究α 年間指導計画英語

学 期	考 査	学習内容	学習のねらい	学習活動・ 特徴的な活動
後 期	第 3 回	英語で表現された意見や考えを聞き取る活動とアウトプット活動 30語～400語程度の対話, 発話, 講義などの英文を聞き取り, それに対する自分の考えを表現する。	☐ 文と文のつながりを理解する。 ☐ 聞き取った内容を, 他者に説明できる。 ☐ 聞き取った内容に関する自分の意見を表現することができる。 ☐ 資料を読み, 他者に説明できる。 ☐ プレゼンテーションの聞き取ることができる。 ☐ メモを用いて Reproduction を行う。	単元ごとに「主な学習活動」の2①②③④を行い, 単元を通じて3つの観点について評価を行う。
後 期	第 4 回	英語で表現された意見や考えを聞き取る活動とアウトプット活動 30語～400語程度の対話, 発話, 講義などの英文を聞き取り, それに対する自分の考えを表現する。	☐ 文と文のつながりを理解する。 ☐ 聞き取った内容を, 他者に説明できる。 ☐ 聞き取った内容に関する自分の意見を表現することができる。 ☐ 資料を読み, 他者に説明できる。 ☐ プレゼンテーションの聞き取ることができる。 ☐ メモを用いて Reproduction を行う。	

状況によって計画を変更することがあります。

指導と評価の年間指導計画 情報研究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
情報研究	3年	1	情報 I Python (実教出版)	

科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
情報に関する科学的な見方・考え方	事象を、情報とその結び付きとして捉え、情報技術の適切かつ効果的な活用(プログラミング、モデル化とシミュレーションを行ったり情報デザインを適用したりすること等)により、新たな情報に再構成する。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【読解力】 【自律の精神】 2 様々な情報を多角的にとらえたうえで、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【社会で生きる知識・技能】【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 テーマや課題に合わせた問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を活用し、主体的に取り組ましよう。【批判的・論理的思考力】【創造力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活・社会問題などを関連づけ、自ら学ぶ意欲を高めましよう。実習で習得した技術を日常生活で活用ましよう。【社会で生きる知識・技能】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・確認テスト	・実習課題 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題の内容、提出状況

情報研究 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ～ 3 学 期	既習分野の総合 演習	知 既習分野を活用し, 関連する知識を組み合わせ て問題を多面的, 多角的に捉えることができる。 条件を変えたり一般化したりすることで, 問題を 論理的に考察することができる。 思 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉 え, 複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだ す力や, 問題の発見・解決に向けて情報技術を適 切かつ効果的に活用する力を身に付けている。 主 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して 情報社会に主体的に参画しようとしている。	单元ごとに前述の主な学習 活動(1～4)を行う。
			全体を通して, それぞれの 学習活動は单元ごとに3つ の観点について評価され る。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

総合的な探究の時間（Minamix）3年次 指導と評価の年間指導計画

目標	自ら設定した課題を、仲間と協働しながら探究し、課題発見・解決へのアプローチ方法を身につける学び、社会と自らの生き方を関連づけて考え、自立的に自身の進路を拓く学びを進め、探究で繋がる学びで、知り、深く考え、未来を創るために行動する志と力「未来創造力」を育む。 （１）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。 （２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身につける （３）探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新しい価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。		
探究の見方・考え方	各教科・科目等における見方・考え方を総合的・統一的に活用して、後半で複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の在り方生き方を問い続けるという総合的な探究の時間の特質に応じた見方・考え方。		
主な学習活動	「進路探究」 大学・学部及び入試研究を進め、自分が学びたい学問と将来の職業とのつながりや社会貢献について考えます。【自律の精神】【進取の精神】 「課題探究」 SDGsなどの現代的課題に関して各教科で学習した内容と関連づけ、課題意識をもってレポートや小論文の作成、探究活動などを行います。グループやクラスで意見交換し、客観的に相互評価をします。【読解力】【創造力】【批判的・論理的思考力】【表現力】【友愛の精神】 「成果のまとめ」 3年間の振り返りを行い、これからの自分の在り方、生き方について考えます。【社会で生きる知識・技能】【創造力】【進取の精神】【表現力】 ・各教科で学習した内容と日常生活を関連づけ、課題意識を持ち、自ら学ぶ意欲を高めましょう。		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・課題を発見し解決するために必要な知識・技能	・探究を深めるための思考・判断・表現	・自らの学習を調整しながら主体的・協働的に取り組もうとする態度
評価の観点及び評価規準	・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	・実社会や実生活と自己との関わり方から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	・探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
主な評価方法	・ワークシート・レポート等の成果物 ・自己評価・相互評価	・ワークシート・レポート等の成果物 ・発表や話し合い等の活動の観察 ・自己評価・相互評価	・発表や話し合い等の活動の観察 ・振り返りワークシート ・課題の内容、提出状況 ・自己評価・相互評価

総合的な探究の時間 (Minamix) 3年次 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ・ 2 学 期	自己実現に向けた進路探究	知 自らの進路・生き方に関わる様々な情報・知識を身につけ、自らの進路や生き方を関連づけて理解すると共に、自己の進路実現に必要な技能を身につけている。 思 現代社会や地域の諸課題と関連づけて、自らの進路・生き方について課題を設定して多面的・多角的に考察し、的確に表現することができている。 主 自己のあり方や将来の進路・生き方に関して積極的に考えると共に、学習に対する意欲を高め、創造的・実践的な態度を身につけようとしている。	・大学及び入試研究 ・志望理由書
1 ・ 2 ・ 3 学 期	課題解決探究活動 成果のまとめ	知 持続可能な社会の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解するとともに、調査活動を、目的や対象に応じて適切に実施している。 思 探究の過程において、設定した課題の解決に向けて仮説を立て、必要な情報の収集し、事実や関係を整理して比較、分析するとともに、目的や意図に応じて論理的に表現している。 主 探究を通して、多様な意見を尊重し、協働的に課題を解決しようとしている。自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の形成者として貢献しようとしている。	・社会的課題に関するレポート、小論文、探究活動等 ・ルーブリック評価 ・キャリアパスポート
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		